シンポジウム３（予防医学） 8:30-10:00

座長：島本　和明　札幌医科大学医学部 内科学第二講座
岡山　明　㈶結核予防会 第一健康相談所

高血圧予防のポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ

S3-1 **予防医学のストラテジー：ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ**
水嶋　春朔 (Mizushima, Shunsaku)　横浜市立大学 大学院 医学研究科 情報システム予防医学部門

S3-2 **疫学研究から見たポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチのインパクト**
三浦　克之 (Miura, Katsuyuki)　滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門

S3-3 **高血圧患者の生活指導：High Risk Approach**
安東　克之 (Ando, Katsuyuki)、藤田　敏郎
東京大学大学院医学系医学研究科 腎臓・内分泌内科 分子循環代謝病学講座

S3-4 **職域におけるポピュレーション・アプローチによる循環器疾患リスクの軽減 -HIPOP-OHP研究-**
岡村　智教 (Okamura, Tomonori)　国立循環器病センター 予防検診部

招請講演2 10:00-10:30

座長：島本　和明　札幌医科大学医学部 内科学第二講座
岡山　明　㈶結核予防会 第一健康相談所

IL2 **Primordial Prevention of Hypertension: Lessons Learned from CARDIA and Other Studies**
Kiang Liu
Feinberg School of Medicine, Northwestern University, Chicago, IL, USA

高得点演題3：疫学 10:30-11:45

座長：檜垣　實男　愛媛大学大学院医学系研究科 病態情報内科学
斎藤　重幸　札幌医科大学医学部 第二内科

PL3-11 **中壮年男女における血圧レベルと24年間の病型別脳卒中死亡リスクとの関連：NIPPON DATA80**
高嶋　直敬 (Takashima, Naoyuki)[1,2]、三浦　克之[2]、奥田　奈賀子[1,2]、藤吉　朗[2]、長澤　晋哉[1,2]、岡村　智教[2,3]、早川　岳人[4]、村上　義孝[2]、門脇　崇[2]、岡山　明[2,5]、上島　弘嗣[1,2]
[1] 滋賀医科大学 生活習慣病予防センター、[2] 滋賀医科大学 医学部 社会医学講座、[3] 国立循環器病センター 予防検診部、[4] 福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座、[5] 財団法人結核予防会 第一健康相談所

PL3-12 **都市部一般住民を対象とした血圧カテゴリー別による糖尿病・慢性腎疾患と循環器病発症との12年追跡研究：吹田研究**
小久保　喜弘 (Kokubo, Yoshihiro)[1]、神出　計[2]、中村　敏子[3]、東山　綾[1]、岡村　智教[1]、岡山　明[4]、河野　雄平[3]
[1] 国立循環器病センター 予防検診部、[2] 大阪大学大学院医学系研究科 老年腎臓内科、[3] 国立循環器病センター高血圧腎臓内科、[4] 財団法人結核予防会

PL3-13 **白衣効果と脳卒中発症：大迫研究**
井上　隆輔 (Inoue, Ryusuke)[1]、大久保　孝義[2]、菊谷　昌浩[3]、目時　弘仁[3]、浅山　敬[2]、原　梓[3]、廣瀬　卓男[3]、菅野　厚博[3]、小原　拓[3]、星　晴久[4]、戸恒　和人[3]、佐藤　洋[5]、根東　義明[1]、今井　潤[3]
[1] 東北大学病院メディカル IT センター、[2] 東北大学大学院薬学研究科医薬開発構想寄附講座、[3] 東北大学大学院薬学研究科臨床薬学分野、[4] 大迫地域診療センター、[5] 環境保健分野

PL3-14 **一般住民において正常高値血圧と正常高値血糖はメタボリックシンドロームとは独立して微量アルブミン尿のリスクとなる：亘理町研究**
大島　瑞保 (Ohshima, Mizuho)[1]、宗像　正徳[1,2]、池田　多聞[3]、三浦　幸雄[2]、伊藤　貞嘉[4]、亘理町研究　グループ[1]
[1] 東北労災病院 高血圧内科、[2] 東北労災病院 勤労者予防医療センター、[3] 秋田労災病院 内科、[4] 東北大学腎・高血圧・内分泌科

PL3-15 **顕性2型糖尿病性腎症におけるオルメサルタン効果：ORIENT試験**
伊藤　貞嘉 (Ito, Sadayoshi)、Juliana CN Chan、今井　圓裕、羽田　勝計、槇野　博史
ORIENT study investigators

招請講演3　14:00-14:30

座長：荻原　俊男　大阪府立急性期・総合医療センター
　　島本　和明　札幌医科大学医学部 内科学第二講座

IL3　The Influence of New Trials on Hypertension Guidelines
Anthony Heagerty
Cardiovascular Research Group, University of Manchester, Core Technology Facility, Manchester, UK

特別企画2：ガイドラインシンポジウム　14:30-16:30

座長：荻原　俊男　大阪府立急性期・総合医療センター
　　島本　和明　札幌医科大学医学部 内科学第二講座

JSH2009ガイドラインを検証する

SP2-1　高血圧治療ガイドライン（リスク評価と血圧管理計画）
今井　潤 (Imai, Yutaka)　東北大学大学院臨床薬学

SP2-2　第一選択薬と併用療法
島田　和幸 (Shimada, Kazuyuki)　自治医科大学 循環器内科

SP2-3　糖尿病、メタボリックシンドロームを伴う高血圧の治療
島本　和明 (Shimamoto, Kazuaki)　札幌医科大学 医学部 内科学第二講座

SP2-4　CKDを伴う高血圧の治療
伊藤　貞嘉 (Ito, Sadayoshi)　東北大学 大学院医学系研究科 内科病態学講座腎・高血圧・内分泌学分野

SP2-5　高齢者高血圧の治療
楽木　宏実 (Rakugi, Hiromi)　大阪大学大学院 医学系研究科 老年・腎臓内科学

第２会場

高血圧関連疾患モデル学会合同シンポジウム　9:30-11:30

座長：楽木　宏実　大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学
並河　徹　島根大学医学部 病態病理学

高血圧研究のためのモデル動物の開発と応用－SHRから未来へ

SHR-1　心血管疾患のモデル動物：SHR and beyond
並河　徹 (Nabika, Toru)　島根大学 医学部 病態病理学

SHR-2　National Bio Resource Project - Rat から高血圧研究者へのメッセージ
芹川　忠夫 (Serikawa, Tadao)　京都大学 大学院 医学研究科 附属動物実験施設

SHR-3　高血圧マウスから攻める疾患ネットワークの解明
深水　昭吉 (Fukamizu, Akiyoshi)　Center for TARA, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan

SHR-4　トランスポゾンシステムによる新しいモデル動物作成とその応用
北田　一博 (Kitada, Kazuhiro)　北海道大学 理学研究院 附属ゲノムダイナミクス研究センター

SHR-5　モデル動物から高血圧臨床へのメッセージと今後の期待
―高血圧・腎障害の退行療法（regression therapy）の可能性―
篠村　裕之 (Sasamura, Hiroyuki)、伊藤　裕
慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科

ランチョンセミナー 3-1：　こんな高血圧患者に出会ったら　12:00-13:00

座長：楽木　宏実　大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学

LS-3-1-1　心房細動を合併した高血圧患者に出会ったら
－満足度向上に必要なこととは－
山下　武志 (Yamashita, Takeshi)　財団法人心臓血管研究所

LS-3-1-2　心疾患を合併した高血圧患者に出会ったら
－ＪＳＨ２００９が示すもの－
筒井　裕之 (Tsutsui, Hiroyuki)　北海道大学大学院医学研究科 循環病態内科学

共催：田辺三菱製薬株式会社

コメディカルシンポジウム　14:00-16:00

座長：福井　富穂　滋賀県立大学 人間文化学部
角野　文彦　滋賀県 健康福祉部健康推進課

生活習慣と高血圧症－食習慣・運動習慣の改善による予防と治療－

共催：メタボリックシンドローム撲滅委員会

CM-1　生活習慣の改善による高血圧の予防　～栄養・食生活面からのアプローチ～
由田　克士 (Yoshita, Katsushi)　独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム

CM-2　脱メタボ！チーム岡大の取り組み
坂本　八千代 (Sakamoto, Yachiyo)　岡山大学病院 臨床栄養部

CM-3　運動習慣と高血圧～特定保健指導を行って見えたもの～
中原　今日子 (Nakahara, Kyoko)　財団法人 滋賀県健康づくり財団

CM-4　行動変容を促す保健指導プログラムとは
藤井　広美 (Fujii, Hiromi)　社団法人日本看護協会 事業開発部

一般口演（臨床）６：高血圧性臓器障害　8:30-9:20

座長：保嶋　実　弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座
林　松彦　慶應義塾大学病院 中央透析室

CO6-30　糖尿病におけるMethylglyoxalの5年間のIMT肥厚、血圧上昇、腎症進行への影響の検討

小川　晋 (Ogawa, Susumu)[1]、中山　恵輔[2]、中山　昌明[2]、森　建文[3]、奈古　一宏[1]、伊藤　貞嘉[1]
[1] 東北大学病院 腎高血圧内分泌科、[2] 東北大学腎不全対策研究講座、[3] 東北大学高等教育センター

CO6-31　慢性腎臓病（CKD）に伴うインスリン抵抗性（IR）におけるアルドステロンの役割

水口　斉 (Minakuchi, Hitoshi)、脇野　修、末安　慶子、吉岡　恭子、長谷川　一宏、原　義和、鷲田　直輝、立松　覚、徳山　博文、林　晃一、伊藤　裕
慶應大学医学部腎臓内分泌内科

CO6-32　慢性腎臓病患者の腎予後に対する無症候性脳梗塞の意義

小林　麻裕美 (Kobayashi, Mayumi)[1,2]、平和　伸仁[1]、谷津　圭介[1]、小林　雄祐[2]、山本　有一郎[1,2]、坂　早苗[1,2]、田村　功一[2]、戸谷　義幸[2]、安田　元[1]、梅村　敏[2]
[1] 横浜市立大学附属市民総合医療センター 腎臓内科、[2] 横浜市立大学大学院医学系研究科病態制御内科学

CO6-33　CKD (慢性腎臓病) の早朝高血圧はnon-dipperであり夜間降圧までに長時間を要する亜型である

水野　晶紫 (Mizuno, Masashi)、福田　道雄、友斉　達也、山中　環、美浦　利幸、市川　匡、宮城　壮太、白澤　祐一、伊藤　彰典、吉田　篤博、木村　玄次郎
名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学

CO6-35　立位負荷時のNa排泄動態から血圧日内リズムを予測する

福田　道雄 (Fukuda, Michio)、山中　環、美浦　利幸、水野　晶紫、友斉　達也、市川　匡、宮城　壮太、白澤　祐一、伊藤　彰典、吉田　篤博、木村　玄次郎
名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学

一般口演（臨床）７：治療（1）　9:30-10:30

座長：大内　尉義　東京大学大学院医学系研究科 加齢医学講座
野出　孝一　佐賀大学 循環器・腎臓内科学

CO7-36　高血圧患者における家庭血圧測定および降圧薬服用アドヒアランス―各診療科間の比較

高遠　哲也 (Takato, Tetsuya)[1,4]、世古　義規[1]、大西　由希子[2]、北里　博仁[2]、吉田　洋子[2]、佃　克則[2]、菊池　方利[2]、赤沼　真夫[3]、芦田　映直[1]
[1] 朝日生命成人病研究所附属丸の内病院 循環器科、[2] 朝日生命成人病研究所附属丸の内病院糖尿病代謝科、[3] 朝日生命成人病研究所附属丸の内病院消化器科、[4] ベックメデイカルクリニック

CO7-37　脂質異常症治療による脳心血管系疾患の予防 ～更年期女性に対するスタチン治療の動脈硬化改善作用～

伊賀瀬　道也 (Igase, Michiya)[1]、小原　克彦[1]、田原　康玄[2]、永井　勅久[1]、越智　雅之[1]、越智　南美子[1]、城戸　知子[1]、上谷　英里[1]、三木　哲郎[1]
[1] 愛媛大学 大学院 加齢制御内科、[2] 愛媛大学大学院統合医科学

CO7-38　左室駆出率が保持された心不全では、レニン−アンジオテンシン系の抑制は予後を改善しない

松本　実佳 (Matsumoto, Mika)[1]、辻野　健[2]、川端　正明[2]、内藤　由朗[2]、赤堀　宏州[2]、佐古田　剛[3]、大柳　光正[3]、増山　理[2]
[1] 兵庫医科大学 臨床検査部、[2] 兵庫医科大学 循環器内科、[3] 兵庫医科大学 冠疾患科

CO7-39　オルメサルタンメドキソミルとアゼルニジピンの慢性腎臓病合併高血圧に対する有効性と安全性

齊藤　郁夫 (Saito, Ikuo)[1]、久代　登志男[2]、平松　且稔[3]、松下　泰之[4]
[1] 慶應義塾大学 保健管理センター、[2] 日本大学 医学部 総合健診センター、[3] 第一三共株式会社 学術調査部、[4] 第一三共株式会社 データサイエンス部

CO7-40　高血圧患者におけるβ遮断薬投与の家庭心拍減少および降圧効果検証のための介入研究: J-HOME-HR研究

新木　貴大 (Shinki, Takahiro)[1]、小原　拓[1,2]、大久保　孝義[3]、後ノ上　健太[1]、芝宮　拓[1]、目時　弘仁[4]、浅山　敬[3]、菊谷　昌浩[1]、今井　潤[1]、J-HOME-HR 研究グループ[5]
[1] 東北大学大学院 薬学・医学系研究科 臨床薬学講座、[2] 東北大学病 院薬剤部、[3] 東北大学大学院 薬学研究科 医薬開発構想寄附講座、[4] 東北大学大学院 医学系研究科 遺伝病学講座、[5]J-HOME-HR

CO7-41　ロサルタン／少量利尿薬の合剤、およびARB最大容量による治療が中心収縮期血圧に与える影響; J-HOME AI研究グループを代表して

今井　潤 (Imai, Yutaka)
東北大学大学院医学・薬学系研究科臨床薬学

高血圧専門医・FJSH特別企画　10:45-11:45

座長：梅村　敏　横浜市立大学大学院医学研究科病態制御内科学
松浦　秀夫　済生会呉病院

「FJSHから高血圧専門医へ：高血圧専門医制度の現状と今後について」

理事長挨拶

島本　和明 (Shimamoto, Kazuaki)　札幌医科大学医学部 内科学第二講座

FJSH-1　専門医制度の現状と今後

梅村　敏 (Umemura, Satoshi)　横浜市立大学 大学院医学研究科 病態制御内科学（専門医制度委員会 委員長）

FJSH-2　高血圧専門医の研修カリキュラム

大屋　祐輔 (Ohya, Yusuke)　琉球大学医学部循環系総合内科学（資格認定小委員会 委員）

FJSH-3　高血圧専門医施設認定の現況と拡充を目指して

松原　弘明 (Matsubara, Hiroaki)　京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学

FJSH-4　高血圧専門医とFJSHの社会活動
（町のレストランで美味しい減塩、低カロリー食を食す「こだわりのヘルシーグルメダイエットレストラン in 呉」、現在39店、広島市にも進出、周辺にも波及）

日下　美穂 (Kusaka, Miho)　日下医院

ランチョンセミナー 3-2：慢性腎臓病の降圧治療戦略 降圧薬の組み合わせで臨床効果に違いがあるか　12:00-13:00

座長：松岡　博昭　獨協医科大学病院循環器内科、宇都宮中央病院
横山　仁　金沢医科大学医学部腎機能治療学（腎臓内科）

LS-3-2-1　CKD患者のARB併用療法におけるCa拮抗薬の選択 －尿蛋白を抑制するために－

阿部　雅紀 (Abe, Masanori)　日本大学医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野

LS-3-2-2　臓器保護を考えたこれからの高血圧診療

宇津　貴 (Uzu, Takashi)　滋賀医科大学 内分泌代謝・腎臓・神経内科学

共催：協和発酵キリン株式会社

一般口演（臨床）８：治療（2）　14:00-14:50

座長：中元　秀友　埼玉医科大学 総合診療内科
宇津　貴　滋賀医科大学 内科学講座 内分泌代謝・腎臓・神経内科学

CO8-42　電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究（HOMED-BP研究）：終了予定変更とその根拠

大久保　孝義 (Ohkubo, Takayoshi)[1,2]、浅山　敬[2]、井上　隆輔[3]、目時　弘仁[1,4]、小原　拓[1,5]、三浦　幸雄[6]、今井　潤[1]、HOMED-BP 研究グループを代表して
[1] 東北大学 大学院 薬学医学系研究科 臨床薬学分野、[2] 東北大学 大学院 薬学研究科 医薬開発構想寄附講座、[3] 東北大学病院 メディカル IT センター、[4] 東北大学 大学院 医学系研究科 遺伝病学分野、[5] 東北大学病院 薬剤部、[6] 東北労災病院

CO8-43　２型糖尿病合併高血圧におけるARBと少量利尿薬の併用療法－血圧および代謝面への影響－

大工原　裕之 (Daikuhara, Hiroyuki)
坂出市立病院 内科

CO8-44　慢性腎臓病患者におけるARBとCa拮抗薬の併用あるいはARBと利尿薬の合剤による治療効果の比較

石光　俊彦 (Ishimitsu, Toshihiko)[1]、大野　絵里[1]、中野　信行[1]、古堅　聡[1]、赤芝　聖[1]、南　順一[1]、沼部　敦司[1]、松岡　博昭[2]
[1] 獨協医科大学 循環器内科、[2] 宇都宮中央病院

CO8-45　アンジオテンシンII受容体拮抗薬服薬下の高血圧患者に対して少量サイアザイド系利尿薬を追加投与したときの血清尿酸値上昇の規定因子

仲本　みのり (Nakamoto, Minori)[1]、崎間　敦[1,2]、仲田　清剛[3]、古波蔵　健太郎[1]、大城　克彦[1]、新里　朋子[1]、山里　正演[1]、石田　明夫[1]、井関　邦敏[4]、大屋　祐輔[1]
[1] 琉球大学医学部循環系総合内科学、[2] 琉球大学保健管理センター、[3] 敬愛会 ちばなクリニック、[4] 琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部

CO8-46　早朝家庭血圧を指標としたアンジオテンシン受容体拮抗薬４剤の降圧効果の比較検討（最終報告）

宮川　政昭 (Miyakawa, Masaaki)
宮川内科小児科医院

一般口演（基礎）５：RAA系（1） 8:30-9:20

座長：成瀬　光栄　国立病院機構京都医療センター 内分泌代謝研究センター 内分泌代謝高血圧研究部
大蔵　隆文　愛媛大学大学院医学系研究科 病態情報内科学科

BO5-23　アルドステロンによる心臓の炎症と線維化の新しい分子機序
―ASK1を介する局所RA系活性化と酸化ストレス亢進の重要性―

中村　太志 (Nakamura, Taishi)[1]、片岡　恵一郎[1]、福田　仁也[1]、名幸　久仁[1]、董　一飛[1]、Liu, Lei[1]、徳冨　芳子[1]、小川　久雄[2]、光山　勝慶[1]
[1] 熊本大学大学院医学薬学研究部 生体機能薬理学、[2] 熊本大学大学院医学薬学研究部 循環器病態学

BO5-24　ARB高用量投与による糸球体MMP-2発現の誘導と糸球体硬化退縮の検討

林　香 (Hayashi, Kaori)、篠村　裕之、石黒　喜美子、坂巻　裕介、伊藤　裕
慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科

BO5-25　肉腫進展における腫瘍内レニン―アンジオテンシン系の役割

波多　のぞみ (Hata, Nozomi)[1]、橋本　達夫[1]、木原　実[1]、吉田　伸一郎[1]、川名　一朗[1]、矢澤　卓也[2]、北村　均[2]、梅村　敏[1]
[1] 横浜市立大学 医学部 病態制御内科学、[2] 横浜市立大学 医学部 病態細胞生物学

BO5-26　オルメサルタンの多面的薬物-受容体相互作用がメカニカルストレスに対するインバースアゴニスト活性に重要な役割を果たしている

康田　典鷹 (Yasuda, Noritaka)、赤澤　宏、秦　穎潔、小室　一成
千葉大学 大学院医学研究院 循環病態医科学

BO5-27　アルドステロンによる腎線維化には、オステオポンチンにより惹起される酸化ストレスが関与する

入田　純 (Irita, Jun)、大蔵　隆文、長尾　知明、城徳　昌典、榎本　大次郎、倉田　美恵、三好　賢一、檜垣　實男
愛媛大学 大学院 医学系研究科 病態情報内科学

一般口演（基礎）６：RAA系（2） 9:40-10:30

座長：宮森　勇　福井大学医学部 病態制御医学・内科学（3）
錦見　俊雄　獨協医科大学 循環器内科

BO6-28　アンジオテンシンIIによるインスリン抵抗性・高血圧惹起の機序における骨格筋細胞内Rac-1の関与

富樫　信彦 (Togashi, Nobuhiko)、太田　英喜、横山　豊、田中　希尚、茂庭　仁人、百石　雅哉、伊藤　洋輔、吉田　英昭、宮崎　義則、島本　和明
札幌医科大学 内科学第2講座

BO6-29　アルドステロンの催炎症作用の細胞内機序の解析

清末　有宏 (Kiyosue, Arihiro)、長田　太助、高橋　政夫、里中　弘志、平田　恭信、永井　良三
東京大学医学部附属病院循環器内科

BO6-30　アルドステロンの非ゲノム作用発現には、ＭＲ／ＨＳＰ90をScaffoldingとしたＰＹＫ２／Ｓｒｃ／ＥＧＦＲ／ＡＴ１－Ｒ分子複合体形成によるチロシンキナーゼ・１型アンギオテンシンＩＩ受容体活性化が必須である

山口　真一郎 (Yamaguchi, Shinichiro)、沖垣　光彦、勝目　あさ子、木下　英吾、松原　弘明
京都府立医科大学 循環器内科

BO6-31　Prolyl hydroxylase domain蛋白の阻害はhypoxia-inducible factor-1非依存性にアンジオテンシIIタイプ1受容体の発現を抑制する

松浦　広英 (Matsuura, Hirohide)[1]、市来　俊弘[2]、武田　宏太郎[2]、砂川　賢二[1]
[1] 九州大学 大学院医学研究院 循環器内科学、[2] 九州大学 大学院医学研究院 先端心血管治療学

BO6-32　新規の昇圧物質coupling factor 6はcSrcの活性化を介してangiotensin IIの収縮反応を亢進させる

長内　智宏 (Osanai, Tomohiro)、櫛引　基、山田　雅大、奥村　謙
弘前大学大学院医学研究科 循環呼吸腎臓内科学

一般口演（基礎）７：成因病態（その他） 10:40-11:40

座長：西山　成　香川大学医学部 薬理学講座
鍵山　俊太郎 九州中央病院 内科

BO7-33 p53による解糖系調節とアポトーシス制御
木股　正樹 (Kimata, Masaki)、的場　聖明、金井　恵理、中村　英夫、星野　温、中岡　幹彦、平海　良美、片村　真紀、辰巳　哲也、松原　弘明
京都府立医科大学 医学部 循環器内科

BO7-34 アポトーシスを抑制するInhibitor of apoptosis (IAP)の血管内皮細胞における分解経路の解明
小出　正洋 (Koide, Masahiro)、池田　宏二、栗本　律子、浦岡　真季、中川　裕介、赤壁　佳樹
京都府立医科大学 大学院医学研究科 循環器内科学

BO7-35 腎皮質集合管細胞でのPGE2-EP4シグナルは、PKA活性化とp38抑制を介してENaC発現に関与する
川田　典孝 (Kawada, Noritaka)、守山　敏樹、長澤　康行、猪阪　善隆、今井　圓裕、楽木　宏実
大阪大学 医学部 老年腎臓内科学

BO7-36 Heat shock cognate protein 70はAktを介した血管新生に関与する
泉　康雄 (Izumi, Yasukatsu)、岩尾　洋
大阪市立大学大学院 医学研究科 分子病態薬理学

BO7-37 エプレレノンはMR非依存的にSREBP-1を活性化し血管内皮NO産生能を増強する
武藤　明子 (Mutoh, Akiko)[1]、一色　政志[2]、西本　光宏[2]、藤田　敏郎[2]
[1] 琉球大学 大学院 医学研究科 臨床薬理学、[2] 東京大学 大学院 医学系研究科 腎臓・内分泌内科

BO7-38 カルボニル物質によるメラミン腎障害の進展と新たな腎臓病メカニズムの可能性
郭　其 (Guo, Qi)[1]、森　建文[1,2]、孫　穎[1]、大崎　雄介[1]、胡　春艶[1]、佐藤　博[1]、須山　享三[3]、宮田　敏男[4]、伊藤　貞嘉[1]
[1] 東北大学 腎高血圧内分泌科、[2] 東北大学 保健管理センター、[3] 仙台大学 体育学部、[4] 東北大学 創成応用医学研究センター

ランチョンセミナー 3-3： CCBの抗酸化作用 12:00-13:00

座長：松原　弘明　京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学

LS-3-3-1 抗酸化作用を介した交感神経系の抑制
廣岡　良隆 (Hirooka, Yoshitaka)　九州大学病院循環器内科

LS-3-3-2 アゼルニジピンの臨床的な酸化ストレス抑制作用と期待される効果
竹石　恭知 (Takeishi, Yasuchika)　福島県立医科大学医学部 循環器・血液内科学講座

共催：第一三共株式会社

一般口演（基礎）8：高血圧性臓器障害　14:00-15:00

座長：佐藤　敦久　国際医療福祉大学 三田病院 内科
冨田　公夫　熊本大学大学院医学薬学研究部 腎臓内科

BO8-39　低レニン性食塩感受性高血圧ラットにおけるカルシウム拮抗薬の心血管保護効果をアルドステロンブロッカーは血圧非依存性に増強する

中村　太志 (Nakamura, Taishi)[1]、片岡　恵一郎[1]、福田　仁也[1]、名幸　久仁[1]、董　一飛[1]、Liu, Lei[1]、徳冨　芳子[1]、小川　久雄[2]、光山　勝慶[1]
[1]熊本大学大学院医学薬学研究部 生体機能薬理学、[2]熊本大学大学院医学薬学研究部 循環器病態学

BO8-40　Angiotensin IIはToll-like Receptor 4を介してJun NH2-terminal Kinase2活性化と心筋内酸化ストレス増加を惹起して心機能低下させる

松田　晋 (Matsuda, Susumu)[1]、梅本　誠治[2]、吉野　敬子[1]、中島　忠亮[1]、伊藤　真一[3]、青木　浩樹[4]、吉村　耕一[5]、村田　智昭[6]、松崎　益徳[1]
[1]山口大学大学院 医学系研究科 器官病態内科学、[2]山口大学 臨床試験支援センター、[3]山口県済生会下関総合病院、[4]久留米大学循環器病研究所、[5]山口大学 分子脈管病態学、[6]山口大学 総合科学実験センター

BO8-41　交感神経の亢進による心筋オートファジーの誘導

中岡　幹彦 (Nakaoka, Mikihiko)、金井　恵理、的場　聖明、木股　正樹、中村　英夫、星野　温彦、片村　真紀、平海　良美、松原　弘明
京都府立医科大学 大学院 循環器・腎臓内科

BO8-42　Dahl食塩感受性ラットに対する腎神経切除による腎保護作用の検討

長洲　一 (Nagasu, Hajime)[1]、佐藤　稔[1]、桑原　篤憲[1]、作田　健夫[1]、依光　大祐[1]、浪越　為八[1]、冨田　奈留也[1]、佐々木　環[1]、柏原　直樹[1]
[1]川崎医科大学 内科学（腎）

BO8-43　アルブミン尿と高血圧性傍髄質障害の関連と脳腎連関

森　建文 (Mori, Takefumi)[1,2]、長澤　将[1]、大崎　雄介[1]、郭　其[1]、米城　淑美[1]、中道　崇[1]、細谷　拓真[1]、井上　英行[1]、胡　春艶[1]、江　悦[1]、佐藤　博[1]、伊藤　貞嘉[1]
[1]東北大学 腎高血圧内分泌科、[2]東北大学 保健管理センター

BO8-44　高血圧症性血管リモデリングおよび腎硬化症における補体C3の関与

池田　和也 (Ikeda, Kazuya)[1]、福田　昇[1,3]、遠藤　守人[2]、山元　智衣[3]、上野　高浩[1]、松本　紘一[1]
[1]日本大学 医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科、[2]八戸大学人間健康学部、
[3]日本大学大学院総合科学研究科生命科学

第５会場

教育セッション（臨床1） 9:15-9:45

座長：堀江　稔　　滋賀医科大学　内科学講座循環器・呼吸器内科

EC-1　高血圧と遺伝子多型

環　愼二 (Tamaki, Shinji)[1]、中村　保幸[2]、田原　康玄[3]、岡村　智教[4]、喜多　義邦[5]、
辻田　靖之[6]、三浦　克之[5]、堀江　稔[7]、三木　哲郎[8]、上島　弘嗣[5]
[1] 公立甲賀病院 循環器内科、[2] 京都女子大学 家政学部生活福祉学科、
[3] 愛媛大学 大学院医学研究科医学専攻 システムバイオロジー部門統合医科学講座、
[4] 国立循環器病センター 予防検診部、
[5] 滋賀医科大学 福祉保健医学講座、[6] 滋賀医科大学 救急・集中治療部、
[7] 滋賀医科大学 呼吸循環器内科講座、[8] 愛媛大学 大学院加齢制御内科学講座

教育セッション（臨床2） 10:00-10:30

座長：土井　俊夫　　徳島大学医学部 腎臓内科学

EC-2　CKDと高血圧

木村　玄次郎 (Kimura, Genjiro)　名古屋市立大学 大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学

ランチョンセミナー 3-4：メタボリックシンドロームとCKDに合併する高尿酸血症：その病態と治療 12:00-13:00

座長：島田　和幸　　自治医科大学循環器内科

LS-3-4-1　血清尿酸値とメタボリックシンドローム、および慢性腎臓病のパラメータとの関連

石坂　信和 (Ishizaka, Nobukazu)　東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学

LS-3-4-2　メタボリック症候群に認められる高尿酸血症と治療抵抗性高血圧の治療戦略：尿酸トランスポーター制御の観点から

久留　一郎 (Hisatome, Ichiro)　鳥取大学大学院医学系研究科 再生医療学部門

共催：鳥居薬品株式会社

第６会場

ランチョンセミナー 3-5： 12:00-13:00

座長：平田　健一　神戸大学大学院医学研究科内科学講座 循環器内科学

LS-3-5　２型糖尿病における血糖管理戦略の新たな動向－最新のエビデンスをふまえて－

絵本　正憲 (Emoto, Masanori)　大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

特別会場

市民公開講座 14:30-16:30

司会：戸田　昇　滋賀医科大学名誉教授、トヤマ循環器病治療薬研究所所長
浅野　定弘　滋賀県医師会会長

「血圧を下げて元気で長生き」

開会挨拶

上島　弘嗣 (Ueshima, Hirotsugu)　第 32 回日本高血圧学会総会会長、滋賀医科大学生活習慣病予防センター

講演１　食べて血圧を下げる―世界調査でわかった元気できれいになる秘訣―

家森　幸男 (Yamori, Yukio)　京都大学名誉教授、武庫川女子大学国際健康開発研究所所長

講演２　運動の降圧・その他の効用

荒川　規矩男 (Arakawa, Kikuo)　福岡大学名誉教授、日本高血圧協会理事長

講演３　降圧薬の正しい内服法

日和田　邦男 (Hiwada, Kunio)　愛媛大学名誉教授、日本高血圧協会専務理事

主催：第 32 回日本高血圧学会総会、日本高血圧協会
後援：滋賀県、滋賀県医師会、社団法人日本循環器管理研究協議会、日本心臓財団、オムロンヘルスケア株式会社
協賛：滋賀医科大学、バイエル薬品株式会社

一般ポスター 48（予防）P48：疫学3　13:00-13:25

座長：甲斐　達也　大阪府済生会 富田林病院 循環器科

P48-269　心血管イベント発症リスク層別化における収縮期高血圧の意義：CASE-J試験から

保野　慎治 (Yasuno, Shinji)[1]、上嶋　健治[1]、大庭　幸治[1]、藤本　明[1]、荻原　俊男[2]、猿田　享男[3]、中尾　一和[1,4]

[1] 京都大学大学院 医学研究科 EBM 研究センター、[2] 大阪府立急性期・総合医療センター、[3] 慶應義塾大学、[4] 京都大学大学院 医学研究科 臨床病態医科学 内分泌・代謝内科

P48-270　富士市における企業健診受診者8000人余から解析した心・血管疾患危険因子・臓器障害の検討

森　壽生 (Mori, Hisao)[1]、梅村　敏[2]

[1] 横浜相鉄ビル内科医院、[2] 横浜市立大学大学院医学研究科病態制御内科学

P48-271　食塩摂取量は血圧と独立して脳卒中死亡を増加させる

友斉　達也 (Tomonari, Tatsuya)、福田　道雄、美浦　利幸、水野　晶紫、山中　環、市川　匡、宮城　壮太、白澤　祐一、伊藤　彰典、吉田　篤博、木村　玄次郎

名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学

P48-272　福井県脳卒中患者登録システムにおける３年間、3300例の登録結果報告 ～高血圧治療との関連について～

水野　清雄 (Mizuno, Sumio)[1]、宮森　勇[2]

[1] 福井循環器病院 循環器内科、[2] 福井大学 医学部 第三内科

P48-273　高齢者における血圧と要介護認定の関連—鶴ヶ谷コホート研究—

寳澤　篤 (Hozawa, Atsushi)[1]、栗山　進一[1]、大森　芳[1]、曽根　稔雅[1]、新田　明美[1]、菅原　由美[1]、中谷　直樹[1]、牛　凱軍[2]、粟田　主一[3]、辻　一郎[1]

[1] 東北大学 大学院医学系研究科 公衆衛生学、[2] 東北大学 大学院医学系研究科 運動学、[3] 東京健康長寿医療センター

一般ポスター 49（予防）P49：ライフスタイル2　13:30-14:00

座長：門脇　崇　滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門

P49-274　正常血圧女性における運動負荷時の過剰な血圧上昇が白血球数に及ぼす影響

道下　竜馬 (Michishita, Ryoma)[1,2]、庄野　菜穂子[1,3]、笠原　貴紀[2]、鶴田　敏幸[2]、井上　晃男[4]、野出　孝一[1]

[1] 佐賀大学 医学部 循環器・腎臓内科、[2] 鶴田運動機能回復クリニック、[3] ライフスタイル医科学研究所、[4] 獨協医科大学心臓・血管内科

P49-275　妊娠高血圧症の出産後早期の血圧低下に与える要因の分析

野平　由香 (Nodaira, Yuka)[1,2]、渡辺　裕輔[1]、羽生　真由子[2]、大野　洋一[1,2]、鈴木　洋通[1,2]、大澤　洋之[3]、板倉　敦夫[3]

[1] 埼玉医科大学 地域医学・医療センター 埼玉 日本、[2] 埼玉医科大学 腎臓内科、[3] 埼玉医科大学 産婦人科

P49-276　正常血圧妊婦のインスリン抵抗性と家庭血圧推移：BOSHI研究

川口　麻衣子 (Kawaguchi, Maiko)[1]、目時　弘仁[2,3]、大久保　孝義[1]、佐藤　友里恵[3]、佐々木　彩乃[3]、阿久津　好美[3]、八木橋　香津代[6]、原　梓[3]、廣瀬　卓男[1]、松原　洋一[2]、八重樫　伸生[4]、岡村　州博[5]、森　滋[6]、鈴木　雅洲[6]、今井　潤[3]

[1] 東北大学大学院 薬学研究科 医薬開発構想寄附講座、[2] 東北大学大学院 医学系研究科 遺伝病学、[3] 東北大学大学院 薬学研究科 臨床薬学、[4] 東北大学大学院 医学系研究科 周産期医学、[5] 東北公済病院、[6] スズキ記念病院

P49-277　妊娠期間中の家庭血圧測定から得られる血行動態データと季節要因の検討：BOSHI研究

目時　弘仁 (Metoki, Hirohito)[1,3]、大久保　孝義[3]、川口　麻衣子[3]、佐藤　友里恵[2]、阿久津　好美[2]、八木橋　香津代[6]、原　梓[2]、小原　拓[2]、菊谷　昌浩[2]、八重樫　伸生[4]、岡村　州博[5]、松原　洋一[1]、森　滋[6]、鈴木　雅洲[6]、今井　潤[2]

[1] 東北大学 大学院医学系研究科 遺伝病学分野、[2] 東北大学 大学院薬学・医学系研究科 臨床薬学分野、[3] 東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想、[4] 東北大学 大学院 周産期学分野、[5] 東北公済病院、[6] スズキ記念病院

P49-278　正常妊婦における妊娠前肥満度と妊娠中の家庭血圧推移：BOSHI研究

佐藤　友里恵 (Sato, Yurie)[1]、目時　弘仁[1,2]、大久保　孝義[3]、川口　麻衣子[3]、阿久津　好美[1]、星川　美奈子[1]、八木橋　香津代[7]、廣瀬　卓男[3]、小原　拓[1,5]、松原　洋一[2]、八重樫　伸生[6]、岡村　州博[4]、森　茂[7]、鈴木　雅洲[7]、今井　潤[1]

[1] 東北大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野、[2] 東北大学 大学院医学系研究科 遺伝病学分野、[3] 東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座、[4] 東北公済病院、[5] 東北大学病院薬剤部、[6] 東北大学 大学院医学系研究科 周産期医学分野、[7] スズキ記念病院

P49-279 血清レプチン濃度と血圧の関係---日本人とハワイ在住日系米人での検討

中村　保幸 (Nakamura, Yasuyuki)[1,2]、上島　弘嗣[2]、奥田　奈賀子[2]、三浦　克之[2]、喜多　義邦[2]、岡村　智教[3]、チューリン　タンヴィール[2]

[1] 京都女子大学家政学部生活福祉学科、[2] 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生部門、[3] 国立循環器病センター予防検診部

一般ポスター 50（基礎）P50：成因・病態　神経調節　13:30-13:55

座長：高橋　伯夫　関西医科大学附属滝井病院 臨床検査医学科循環器内科

P50-280 新規中枢性血圧調節機構としての頭側延髄腹外側野(RVLM)における Neuregulin-1/ErbB pathwayの役割

松川　龍一 (Matsukawa, Ryuichi)、廣岡　良隆、西原　正章、伊藤　浩司、砂川　賢二

九州大学大学院医学研究院循環器内科学

P50-281 エプレレノンは圧負荷モデルにおける脳内Na感受性亢進を抑制することによって食塩負荷に伴う交感神経活性化を軽減し心機能を改善する —脳内MR-ENaC 経路の重要性—

伊藤　浩司 (Ito, Koji)、廣岡　良隆、松川　龍一、西原　正章、砂川　賢二

九州大学大学院 医学研究院 循環器内科学

P50-282 高血圧モデルラットの心血管中枢におけるAT1受容体を介したsmall G protein Ras/caspase-3 pathway活性化による動脈圧受容器反射機能低下および交感神経活動亢進

岸　拓弥 (Kishi, Takuya)、廣岡　良隆、砂川　賢二

九州大学 大学院 医学研究院 循環器内科学

P50-283 メタボリックシンドロームの病態に脳内酸化ストレスを介した中枢性交感神経活動亢進が関与している

藤田　恵 (Fujita, Megumi)、河原崎　宏雄、森　英理、松井　宏光、安東　克之、藤田　敏郎

東京大学 医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

P50-284 脳卒中易発症自然発症高血圧ラットに対するテルミサルタンの経口投与は脳延髄交感神経活動中枢内酸化ストレス抑制・GABA産生増加を介した交感神経活動抑制作用を有する

岸　拓弥 (Kishi, Takuya)、廣岡　良隆、砂川　賢二

九州大学

一般ポスター 51（基礎・臨床）P51：成因・病態　神経調節・酸化ストレス　13:30-13:55

座長：廣岡　良隆　九州大学病院 循環器内科

P51-285 腎摘術により段階的に腎機能を低下させたラットの血管壁では腎機能低下に相関した内皮機能低下やリモデリングが起こる

鳥羽　裕恵 (Toba, Hiroe)、村田　翔子、中島　浩平、大嶌　裕子、児島　悠史、小原　幸、中田　徹男

京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野

P51-286 アポリポ蛋白E遺伝子ノックアウトマウスにおけるアルドステロン-食塩負荷高血圧には、神経細胞のエネルギー代謝の変化に伴う酸化ストレス増大が関連する

荒木　周一郎 (Araki, Shuichiro)[1]、廣岡　良隆[1]、今野　里美[1]、伊藤　浩司[1]、岸　拓弥[1]、安川　圭司[2]、内海　英雄[2]、砂川　賢二[1]

[1] 九州大学 医学研究院 循環器内科、[2] 九州大学 薬学研究院 機能分子解析学

P51-287 アゼルニジピンによる交感神経抑制効果の検討

猪俣　純一郎 (Inomata, Jyunichirou)、高村　雅之、池田　達則、村井　久純、小林　大祐、薄井　荘一郎、金子　周一

金沢大学 医学部 恒常性制御学

P51-288 無拍動全置換型人工心臓の血圧制御

山家　智之 (Yambe, Tomoyuki)[1]、三浦　英和[1]、白石　泰之[1]、田中　明[1]、吉沢　誠[2]

[1] 東北大学 加齢医学研究所、[2] 東北大学サイバーサイエンスセンター

P51-289 高血圧を制御できる自動車の開発の可能性

山家　智之 (Yambe, Tomoyuki)[1]、吉澤　誠[2]、杉田　典大[2]、川島　隆太[1]

[1] 東北大学 加齢医学研究所、[2] 東北大学サイバーサイエンスセンター

一般ポスター 52（基礎）P52：成因・病態　RAA系　5　13:00-13:25

座長：市原　淳弘　慶應義塾大学医学部 抗加齢内分泌学講座

P52-290　シルニジピンにおけるAngiotensin type1 receptor blocker（ARB）併用下でのRAS亢進抑制作用の検証

新沼　多美 (Niinuma, Kazumi)、有冨　静、今田　智之、塩崎　誠
味の素株式会社 医薬カンパニー 医薬研究所 創薬開発研究部 創薬薬理研究室

P52-291　虚血再還流障害時の腎近位尿細管細胞障害に対するアンジオテンシンII受容体拮抗薬の効果

高尾　俊弘 (Takao, Toshihiro)[1]、堀野　太郎[2]、寺田　典生[2]
[1] 高知大学 医学部 地域看護学講座 地域医療学、[2] 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学

P52-292　培養マウス遠位尿細管細胞での酸化ストレスと線維化に対するAT1受容体阻害薬（Candesartan）の効果について

増田　真一朗 (Masuda, Shinichiro)、田村　功一、前田　晃延、大澤　正人、出島　徹、涌井　広道、重永　豊一郎、金岡　知彦、東　公一、池谷　裕子、岡野　泰子、松田　みゆき、戸谷　義幸、梅村　敏
横浜市立大学 医学部 病態制御内科学

P52-293　Olmesartanはラットにおける血管老化の進行を遅延する

建部　順子 (Tatebe, Junko)[1]、山崎　純一[2]、盛田　俊介[1]
[1] 東邦大学 医療センター大森病院 臨床検査医学、[2] 東邦大学 医療センター大森病院 循環器内科

P52-294　カルシウムチャネルブロッカーの抗アルドステロン作用-in vivoでの検討-

武田　仁勇 (Takeda, Yoshiyu)、朱　傲霜、唐島　成宙、米田　隆、出村　昌史、橋本　篤、森　俊介、山岸　正和
金沢大学大学院臓器機能制御学（内科）

一般ポスター 53（臨床）P53：成因・病態　RAA系　13:30-13:50

座長：齊藤　郁夫　慶應義塾大学保健管理センター

P53-295　選択的レニン阻害薬およびアンギオテンシン受容体拮抗薬の併用投与におけるNO bioavailabilityに及ぼす効果

辻岡　洋人 (Tsujioka, Hiroto)、今西　敏雄、池島　英之、黒井　章央、谷本　貴志、猪野　靖、財田　滋穂、水越　正人、平田　久美子、田中　篤、赤阪　隆志
和歌山県立医科大学 循環器内科

P53-296　尿中アンジオテンシノーゲンはCKD合併高血圧患者の腎機能障害を示す指標となる

柳　麻衣 (Yanagi, Mai)[1]、田村　功一[1]、小堀　浩幸[2]、小澤　素子[3]、岡野　泰子[1]、内野　和顕[1]、藤川　哲也[1]、大澤　正人[1]、金岡　知彦[1]、東　公一[1]、吉田　伸一郎[1]、三橋　洋[1]、戸谷　義幸[1]、梅村　敏[1]
[1] 横浜市立大学 病態制御内科学、[2] チューレン大学ヘルスサイエンスセンター生理学高血圧腎臓 COE、[3] 大和市立病院 腎臓内科

P53-297　原発性アルドステロン症の治療による睡眠時無呼吸症候群の改善の可能性

高橋　克敏 (Takahashi, Katsutoshi)[1]、藤田　恵[1]、西松　寛明[2]、藤田　敏郎[1]
[1] 東京大学 医学部属病院 腎臓・内分泌内科、[2] 東京大学 医学部属病院 泌尿器科・男性科

P53-298　選択的AT1受容体拮抗剤バルサルタンは高容量160mgで本態性高血圧患者の尿アルブミン排泄を抑制し、酸化ストレスを低下させ、高分子型アディポネクティンを減少させる。

佐藤　文俊 (Satoh, Fumitoshi)、森本　玲、工藤　正孝、松田　謙、岩倉　芳倫、村上　治、伊藤　貞嘉
東北大学病院 腎高血圧内分泌科

一般ポスター 54（臨床）P54：メタボリックシンドローム・インスリン抵抗性・肥満　2　13:00-13:30

座長：冨山　博史　東京医科大学 第二内科

P54-299　本態性高血圧症の予測因子としての代謝性因子とCAVIによる動脈硬化の定量的検討

堺　孝明 (Sakai, Takaaki)[1]、朔　啓二郎[2]
[1] 保健医療経営大学 保健医療経営学部、[2] 福岡大学医学部心臓・血管内科

P54-300　メタボリック症候群合併高血圧の臨床的・免疫学的特徴

杉浦　伸也 (Sugiura, Shinya)、藤井　英太郎、千賀　通晴、土肥　薫、中村　真潮、伊藤　正明
三重大学 大学院 医学系研究科 循環器内科学

P54-301　未治療高血圧症における臨床像と年齢による影響の性差

関　晋吾 (Seki, Shingo)[1]、吉村　道博[2]
[1] 東京慈恵会医科大学 青戸病院 循環器内科、[2] 東京慈恵会医科大学 循環器内科

P54-302　高血圧治療ガイドライン（JSH2009）の血圧値分類別にみた負荷後高血糖の頻度とそのスクリーニング法の検討

大森　将 (Ohmori, Susumu)、冨永　光裕、鍵山　俊太郎、河野　修
公立学校共済組合 九州中央病院 内科

P54-303　特定保健指導から降圧薬療法へ転換する至適血圧値に関するシミュレーション研究

大野　洋一 (Ohno, Yoichi)[1,2]、竹中　恒夫[2]、岡田　浩一[2]、菅野　義彦[2]、羽生　真由子[1]、渡辺　裕輔[2]、井上　勉[2]、鈴木　洋通[1,2]
[1] 地域医学医療センター，埼玉医科大学：、[2] 腎臓内科，埼玉医科大学

P54-304　非アルコール性肝疾患（NAFLD）の圧脈反射(Augmentation index)への影響（腹部肥満および性差との関連）

松本　知沙 (Matsumoto, Chisa)[1]、冨山　博史[1]、小平　真理[1]、吉田　雅伸[1]、山田　治広[1]、椎名　一紀[1]、山科　章[1]、山崎　睦夫[2]、宮脇　義則[2]
[1]The Departement of Cardiology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan、[2]Omron Health Care. CO. LTD.

一般ポスター 55（臨床）P55：メタボリックシンドローム・インスリン抵抗性・肥満　3　13:30-14:00

座長：石光　俊彦　獨協医科大学 循環器内科

P55-305　メタボリックシンドロームと急性心筋梗塞の血中アディポネクチン濃度の比較

鈴木　伸 (Suzuki, Shin)、武藤　成紀、雨森　健太郎、中嶋　寛、本田　幸治
長崎市民病院 循環器内科

P55-306　日中傾眠傾向のない睡眠時無呼吸症合併高血圧症例におけるnCPAP療法コンプライアンスの動脈硬化に対する影響

佐川　俊世 (Sagawa, Toshio)、古川　泰司、山川　健、一色　高明
帝京大学 医学部 内科

P55-307　本態性高血圧患者の降圧療法におけるテルミサルタンへの長期切替え効果

芦澤　直人 (Ashizawa, Naoto)、前村　浩二
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科循環病態制御内科学

P55-308　ARBからロサルタン/HCTZ錠に切り換えた際の血圧、高分子量アディポネクチン濃度、および各種代謝指標への影響

広瀬　寛 (Hirose, Hiroshi)[1,2]、河邊　博史[1,2]、齊藤　郁夫[1,2]
[1] 慶應義塾大学 保健管理センター、[2] 慶應義塾大学 医学部内科

P55-309　テルミサルタンによる内臓脂肪減少効果、体重増加抑制効果の検討

杉本　研 (Sugimoto, Ken)[1]、藤澤　智巳[1]、野嶋　孝次[1]、小瀬　綾[1]、新堂　修康[1]、王　祥[1]、大石　充[1]、樂木　宏実[1]、佐藤　尚司[2]
[1] 大阪大学 医学系研究科大学院 老年・腎臓内科学、[2] 東宝塚さとう病院

P55-310　動脈硬化抑制における高血圧治療と糖尿病治療の盲点

島田　誠二郎 (Shimada, Seijiro)、杉村　圭一、井野　光、松浦　真宣、濱　純吉
近畿大学 医学部 堺病院 循環器内科

一般ポスター 56（臨床）P56：二次性高血圧症1　13:00-13:35

座長：東浦　勝浩　市立根室病院 内科

P56-311　狭窄部血行動態指標と血行再建術による降圧効果の動脈硬化性腎動脈狭窄での検討

種本　雅之 (Tanemoto, Masayuki)、竹内　陽一、三島　英換、相馬　友和、秋山　泰利、豊原　敬文、鈴木　健弘、阿部　倫明、阿部　高明、伊藤　貞嘉
東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科

P56-312　肥満が原発性アルドステロン症患者のホルモン検査値に与える影響の検討

田村　尚久 (Tamura, Naohisa)、曽根　正勝、福永　康智、田浦　大輔、犬塚　恵、園山　拓洋、本間　康一郎、中尾　一和
京都大学 大学院医学研究科 内分泌代謝内科

P56-313　カテコラミンプロフィールから見た褐色細胞腫の臨床像の再評価

田辺　晶代 (Tanabe, Akiyo)[1]、立木　美香[1]、渡辺　大輔[1]、津曲　綾[1]、木村　瞳[1]、成瀬　光栄[2]、高野　加寿恵[1]
[1] 東京女子医科大学 第二内科、[2] 京都医療センター

P56-314　褐色細胞腫スクリーニングのためのスポット尿中メタネフリン総和基準値に関する検討

土井尻　遼介 (Doijiri, Ryousuke)、橋本　朋子、石藤　智子、大和田　雅彦、菅原　隆、川村　実
岩手県立中央病院総合内科

P56-315　随時血糖660mg/dlを契機に診断されたコルチゾール産生副腎癌の一例

宮下　和季 (Miyashita, Kazutoshi)[1]、中尾　一和[2]、伊藤　裕[1]
[1] 慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科、[2] 京都大学医学部 医学研究科 内分泌代謝内科

P56-316　サブクリニカルクッシング病・症候群における手術療法が及ぼす降圧効果についての検討

工藤　正孝 (Kudo, Masataka)[1]、佐藤　文俊[1]、森本　玲[1]、村上　治[1]、岩倉　芳倫[1]、宇留野　晃[2]、菅原　明[2]、伊藤　貞嘉[1]
[1] 東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科、[2] 東北大学医学部 先端再生生命学寄付講座

P56-317　難治性高血圧症として診断に苦慮し、最終的に腹腔鏡下腫瘍摘出により高血圧が完全に治癒した傍糸球体細胞腫の一例

渡辺　直樹 (Watanabe, Naoki)[1]、清元　秀泰[2]、ペティシュ　ニコラス[3]、乾　政志[4]、西岡　聡[2]、西島　陽子[2]、祖父江　理[2]、海部　久美子[2]、中野　大介[3]、原　大雅[2]、人見　浩史[3]、串田　吉生[5]、河野　雅和[2]、鈴木　文昭[6]、西山　成[3]
[1] 香川大学 医学部 附属病院 卒後臨床研修センター、[2] 香川大学 医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科、[3] 薬理学、[4] 泌尿器・副腎・腎移植外科、[5] 病理部、[6] 岐阜大学 応用生物科学部・動物生化学研究室

一般ポスター 57（臨床）P57：二次性高血圧症2　13:00-13:30

座長：高田　豊　　九州歯科大学 内科

P57-318　当施設におけるカンデサルタン内服下ACTH負荷副腎静脈サンプリングの成績

園山　拓洋 (Sonoyama, Takuhiro)、田村　尚久、曽根　正勝、福永　康智、小山田　尚史、田浦　大輔、犬塚　恵、中尾　一和
京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科

P57-319　腹腔鏡手術で副腎摘出術を行った妊娠中の原発性アルドステロン症の1例

武藤　成紀 (Mutoh, Shigenori)[1]、鈴木　伸[1]、雨森　健太郎[1]、中嶋　寛[1]、本田　幸治[1]、松本　亜由美[2]、佐藤　二葉[2]、井川　掌[3]、酒井　英樹[3]、金武　洋[3]
[1] 長崎市民病院 循環器内科、[2] 長崎市民病院 産婦人科、[3] 長崎大学病院 泌尿器科

P57-320　横隔膜脚による圧排が原因の腎血管性高血圧症が疑われた一例

立木　美香 (Tsuiki, Mika)、津曲　綾、田辺　晶代、盛田　順子、高野　加寿恵
東京女子医科大学 第２内科

P57-321　進行性臓器障害を伴った原発性アルドステロン症の治療をどう考えるか?【長期スピロノラクトン療法中に臓器障害が進展した重症原発性アルドステロン症の一例の検討】

岩倉　芳倫 (Iwakura, Yoshitsugu)[1]、佐藤　文俊[1]、森本　玲[1]、工藤　正孝[1]、松田　謙[1]、村上　治[1]、高瀬　圭[2]、山田　隆之[2]、高橋　昭喜[2]、伊藤　昭宏[3]、石戸谷　滋人[3]、荒井　陽一[3]、鈴木　貴[4]、笹野　公伸[4]、伊藤　貞嘉[1]
[1] 東北大学病院 腎高血圧内分泌科、[2] 同院 放射線診断科、[3] 同院 泌尿器科、[4] 同院 病理部

P57-322　重症高血圧症を呈するACTH非依存性クッシング症候群におけるアルドステロンの関与 -ACTH負荷副腎静脈サンプリングにより明らかにされた病態-

森本　玲 (Morimoto, Ryo)[1]、佐藤　文俊[1]、工藤　正孝[1]、岩倉　芳倫[1]、宮澤　恵美子[1]、松田　謙[1]、村上　治[1]、高瀬　圭[2]、高橋　昭喜[2]、伊藤　明宏[3]、石戸谷　滋人[3]、荒井　陽一[3]、鈴木　貴[4]、笹野　公伸[4]、伊藤　貞嘉[1]
[1] 東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科、[2] 東北大学病院 放射線診断科、[3] 東北大学病院 泌尿器科、[4] 東北大学病院 病理部

P57-323　原発性アルドステロン症患者における治療による内臓脂肪量への影響

唐島　成宙 (Karashima, Shigehiro)[1]、米田　隆[1]、臼倉　幹哉[2]、佐久間　寛[2]、井田　正博[2]、織田　展成[1]、高田　裕之[1]、山本　泰弘[1]、橋本　篤[1]、森　俊介[1]、大江　真史[1]、米谷　充弘[1]、出村　昌史[1]、山岸　正和[1]、武田　仁勇[1]
[1] 金沢大学大学院 臓器機能制御学（内分泌代謝内科）、[2] 芳珠記念病院

一般ポスター 58（臨床・予防）P58：高血圧・合併症の診断　血圧・心拍　13:00-13:35

座長：宗像　正徳　労働者健康福祉機構東北労災病院 勤労者予防医療センター

P58-324　家庭血圧測定時の座位前屈が血圧値に及ぼす影響

山崎　文靖 (Yamasaki, Fumiyasu)[1]、宮野　伊知郎[2]、小澤　利男[2]、西永　正典[2]、土居　義典[2]

[1] 高知大学 医学部 検査部、[2] 高知大学 医学部 老年病科・循環器科

P58-325　総頸動脈、橈骨動脈間坐位伝達関数—臥位伝達関数との比較検討—

平田　浩三 (Hirata, Kozo)[1]、小嶋　巌[2]、山崎　睦夫[2]、宮脇　義徳[2]、百村　伸一[1]

[1] 自治医大附属さいたま医療センター 循環器科、[2] オムロンヘルスケア

P58-326　上腕血圧の左右差について-診察室血圧における検討-

宮川　政昭 (Miyakawa, Masaaki)

宮川内科小児科医院

P58-327　高齢者の外来血圧および家庭血圧測定時に注意すべき事項の検討

神津　仁 (Kozu, Hitoshi)[1]、村上　博[2]

[1] 神津内科クリニック、[2] 医療法人立命会村上循環器科病院

P58-328　降圧薬治療中の高血圧患者の診療室血圧コントロール状況に関与する因子 - 一般職域施設における検討

河邊　博史 (Kawabe, Hiroshi)、広瀬　寛、齊藤　郁夫

慶應義塾大学 保健管理センター

P58-329　24時間血圧モニタリングにおける仮面高血圧と空腹時血糖および微量アルブミン尿の関連について－家庭血圧における仮面高血圧との比較－

石川　譲治 (Ishikawa, Joji)[1]、星出　聡[1]、江口　和男[1]、Schwartz, Joseph E[2]、Pickering, Thomas G[2]、島田　和幸[1]、苅尾　七臣[1]

[1] 自治医科大学 循環器内科、[2] コロンビア大学メディカルセンター

P58-330　血漿アルドステロン/レニン活性比と高血圧有病およびNa摂取量との関連：家庭血圧を用いた検討（大迫研究）

佐藤　倫広 (Satoh, Michihiro)[1]、菊谷　昌浩[1]、原　梓[1]、大久保　孝義[2]、森　建文[3]、目時　弘仁[1,4]、宇津木　恵[5]、井上　隆輔[6]、浅山　敬[2]、小原　拓[1,7]、戸恒　和人[1]、星　晴久[8]、佐藤　洋[9]、今井　潤[1]

[1] 東北大学大学院 臨床薬学、[2] 東北大学大学院 医薬開発構想講座、[3] 東北大学 保健管理センター、[4] 東北大学大学院 遺伝病学、[5] 国立健康・栄養研究所、[6] 東北大学病院 メディカル IT センター、[7] 東北大学病院 薬剤部、[8] 岩手県大迫地域診療センター、[9] 東北大学大学院 環境保健医学

一般ポスター 59（予防）P59：高血圧・合併症の診断　脈波　疫学　13:00-13:25

座長：環　愼二　公立甲賀病院 循環器内科

P59-331　健常児童における肥満のarterial stiffnessに及ぼす影響

櫻木　悟 (Sakuragi, Satoru)[1]、Abhayaratna, Walter[2]、片山　祐介[1]、岩崎　淳[1]、竹内　一文[1]、川本　健治[1]、宮地　剛[1]、吉田　雅言[1]、鈴木　秀行[1]、山田　大介[1]

[1] 岩国医療センター、[2] キャンベラホスピタル, キャンベラ, オーストラリア

P59-332　中心大動脈圧を規定する因子について：人間ドック受診者のデータを用いた解析

高瀬　浩之 (Takase, Hiroyuki)[1]、土肥　靖明[2]、萩倉　新[1]、木村　玄次郎[2]

[1] 遠州病院 内科、[2] 名古屋市立大学大学院 心臓・腎高血圧内科学

P59-333　地域在住高齢者における脈波伝播速度（baPWV）およびUp&Goテストと生命予後との関連：住民健診における検討

宮野　伊知郎 (Miyano, Ichiro)[1]、西永　正典[2]、小澤　利男[2]、土居　義典[2]

[1] 高知大学 医学部 予防医学・地域医療学、[2] 高知大学 医学部 老年病・循環器・神経内科学

P59-334　運動負荷に対する大動脈起始部圧波の応答とそれに及ぼす心血管危険因子の集積の影響

宮井　信行 (Miyai, Nobuyuki)[1]、有田　幹雄[2]、伊藤　克之[2,3]、森岡　郁晴[2]、茂原　治[3]、宮下　和久[2]

[1] 大阪教育大学、[2] 和歌山県立医科大学 、[3] 和歌山健康センター

P59-335　高齢者高血圧ではAugmentation IndexやSBP2よりも脈圧が臓器障害と関連する

内田　文 (Uchida, Fumi)、原田　和昌、田中　文、鳥羽　梓弓、今井　靖子、青山　里恵、油井　慶晃、牧　尚孝、田中　旬、井上　将至、坪光　雄介、武田　和大、桑島　巌

東京都健康長寿医療センター 循環器内科

一般ポスター 60（臨床）P60：高血圧性臓器障害　腎臓　5　13:30-13:55

座長：保嶋　実　　弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座

P60-336　腎臓病・高血圧患者での降圧治療の効果を規定する因子についての検討

山田　薫 (Yamada, Kaoru)[1]、宮下　和久[2]、齋藤　克典[2]、古寺　理恵[2]、後藤　淳郎[2]

[1] 三楽病院 健康管理科、[2] 日本赤十字社医療センター 腎臓内科

P60-337　Valsartanの腎保護作用は用量依存性か?

犀川　哲典 (Saikawa, Tetsunori)[1]、佐々木　淳[2]、枇榔　貞利[3]

[1] 大分大学医学部臨床検査診断学、[2] 国際医療福祉大学大学院臨床試験分野、[3] 鹿児島 司 病院

P60-338　レニン―アンジオテンシン系抑制薬で治療中の慢性腎臓病患者におけるシルニジピンの併用効果

宇津　貴 (Uzu, Takashi)[1]、西村　正孝[2]、渋之　和之[2]、武田　尚子[2]、一色　啓二[1]、荒木　信一[1]、杉本　俊郎[1]、大澤　紀之[3]、山田　衆[3]

[1] 滋賀医科大学 医学部 内分泌代謝・腎臓・神経内科、[2] 市立長浜病院 内科、[3] 公立甲賀病院 内科

P60-339　高血圧を伴う慢性腎臓病患者に対するL/N型Ca拮抗薬シルニジピン投与の有効性

上園　繁弘 (Uezono, Shigehiro)[1]、北　俊弘[2]、北村　和雄[2]

[1] 県立宮崎病院 内科、[2] 宮崎大学医学部循環体液制御学分野

P60-340　アンジオテンシンII受容体拮抗薬の降圧効果と尿蛋白減少効果の変動性についての検討

大前　清嗣 (Omae, Kiyotsugu)[1]、小川　哲也[2]、新田　孝作[2]

[1] 吉川内科小児科病院 内科、[2] 東京女子医大第四内科

一般ポスター 61（臨床）P61：高血圧性臓器障害　脳・心臓　13:00-13:30

座長：加藤　丈司　　宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 生命科学研究部門生理活性物質探索分野

P61-341　24時間血圧測定による，急性期ラクナ梗塞患者におけるARBおよび利尿薬投与の効果判定

山本　康正 (Yamamoto, Yasumasa)

京都第二赤十字病院 脳神経内科

P61-342　血液透析施行中の高血圧患者に対するAT1受容体阻害薬投与が血圧日内変動に与える影響についての検討

金岡　知彦 (Kanaoka, Tomohiko)[1]、田村　功一[1]、三橋　洋[1]、小澤　素子[1]、柳　麻衣[1]、涌井　広道[1]、東　公一[1]、大澤　正人[1]、前田　晃延[1]、岡野　泰子[1]、石上　友章[1]、戸谷　義幸[1]、常田　康夫[2]、大西　俊正[3]、梅村　敏[1]

[1] 横浜市立大学医学部病態制御内科学、[2] 藤沢市民病院、[3] 上大岡仁正クリニック

P61-343　N末端proBNP上昇を伴う未治療高血圧症例における潜在性微小心筋傷害の検討

大塚　俊昭 (Otsuka, Toshiaki)[1]、清野　精彦[2]、雪吹　周生[2]、小谷　英太郎[3]

[1] 日本医科大学 衛生学公衆衛生学、[2] 日本医科大学 千葉北総病院 循環器センター、
[3] 日本医科大学 多摩永山病院 内科・循環器内科

P61-344　中心血圧による虚血性心筋症と拡張型心筋症の鑑別

日浅　豪 (Hiasa, Go)[1]、佐々木　康浩[1]、齋藤　実[1]、吉井　豊史[1]、住元　巧[1]、岡山　英樹[2]、西村　和久[2]、井上　勝次[2]、檜垣　實男[2]

[1] 喜多医師会病院 循環器内科、[2] 愛媛大学大学院 病態情報内科学

P61-345　高血圧性肥大心に対するカルシウム拮抗薬投与後の左室局所機能改善と左室肥大退縮効果の経時的観察

元木　博彦 (Motoki, Hirohiko)、小山　潤、相澤　万象、川上　徹、越川　めぐみ、笠井　宏樹、伊澤　淳、富田　威、宮下　裕介、熊崎　節央、池田　宇一

信州大学 医学部 循環器内科

P61-346　本態性高血圧患者における左室形態と心血管系疾患の危険因子との関連

杉森　弘子 (Sugimori, Hiroko)、供田　文宏、小池　勤、黒崎　宏子、山崎　秀憲、高橋　徹、絹野　裕之、鍵谷　聡志、井上　博

富山大学 医学部 第二内科

一般ポスター 62（基礎）P62：薬物療法　1　13:00-13:25

座長：森下　竜一　大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学

P62-347　腎間質線維化に対するRho-kinase阻害薬-ACE阻害薬併用療法の相加的腎保護効果の検討

竹田　陽介 (Takeda, Yousuke)[1]、錦見　俊雄[1]、家村　周子[1]、田所　寿剛[1]、石村　公彦[1]、石光　俊彦[1]、松岡　博昭[2]

[1] 獨協医科大学付属病院 循環器内科、[2] 宇都宮中央病院

P62-348　Dahl食塩感受性ラットにおいてエプレレノンとアムロジピンはそれぞれ糸球体障害と尿細管間質障害に対して保護的に働く

Du Jun (Du, Jun)[1]、Fan, Yu-Yan[2]、人見　浩史[1]、清元　秀泰[2]、西山　成[1]、中野　大介[1]

[1] 香川大学 医学部 薬理学講座、[2] 香川大学 医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科

P62-349　PPARγアゴニスト作用を有するアンジオテンシンII受容体拮抗薬テルミサルタンの血管平滑筋細胞におけるミトコンドリア機能への影響の検討：ピオグリタゾンとの比較

山本　浩一 (Yamamoto, Koichi)、大石　充、多田羅　雄之、塩田　敦、岩本　義広、武田　昌生、樂木　宏実

大阪大学 大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学

P62-350　アルツハイマー病モデルマウスにおける認知機能低下に対するテルミサルタンの効果

佃　架奈 (Tsukuda, Kana)、茂木　正樹、岩波　純、坂田　暁子、関　莉娟、景　斐、岩井　將、堀内　正嗣

愛媛大学大学院 医学系研究科 分子心血管生物・薬理学

P62-351　糖尿病虚血下肢ラットモデルにおけるシロスタゾールによる血管新生作用

武島　宏 (Takeshima, Hiroshi)[1]、小林　直彦[1]、福嶋　博道[1]、小口　渉[1]、間々田　恭子[1]、平田　久人[2]、町田　賀章[2]、鈴木　典子[3]、横塚　富美江[3]、田部井　恭子[3]、福田　昇[4]、松岡　博昭[1]、石光　俊彦[1]

[1] 獨協医科大学 循環器内科、[2] 獨協医科大学 実験動物センター、[3] 獨協医科大学 医学総合研究所、[4] 日本大学大学院医学研究科 細胞再生移植医学

一般ポスター 63（基礎）P63：薬物療法　2　13:30-13:55

座長：環　愼二　公立甲賀病院 循環器内科

P63-352　スタチンによる血圧降下作用機序の解析

豊原　敬文 (Toyohara, Takafumi)[1]、秋山　泰利[1]、竹内　陽一[1]、三島　英換[1]、相馬　友和[1]、鈴木　健弘[1]、阿部　倫明[1]、種本　雅之[1]、曽我　朋義[2]、伊藤　貞嘉[1]、阿部　高明[1,3,4]

[1] 東北大学病院 腎高血圧内分泌科、[2] 慶応義塾大学先端生命科学研究所、[3] 東北大学大学院医工学研究科分子病態医工学、[4] 東北大学大学院医学系研究科病態液性制御学

P63-353　虚血後血管新生におけるAMPK経路を介したプラバスタチンの効果

泉　康雄 (Izumi, Yasukatsu)、岩尾　洋

大阪市立大学大学院 医学研究科 分子病態薬理学

P63-354　高フルクトース食ラットの腎障害に対するサイアザイド利尿剤とアンジオテンシンII受容体拮抗薬の併用効果

郭　其 (Guo, Qi)[1]、森　建文[1,2]、江　悦[1]、胡　春艶[1]、大崎　雄介[1]、中道　崇[1]、小川　晋[1]、伊藤　貞嘉[1]

[1] 東北大学 腎高血圧内分泌科、[2] 東北大学保健管理センター

P63-355　アンジオテンシンII受容体過剰発現マウスの塩分負荷による糸球体増殖変化に対するインダパミドの効果

小野　孝彦 (Ono, Takahiko)[1,2]、粂　哲雄[1]、大塚　秀隆[1]、尾形　曜子[1]、加藤　こずえ[1]、北村　久代[1]、上村　和秀[1]、伊藤　正樹[3]

[1] 静岡県立大学 分子病態学、[2] 市立島田市民病院 内科、[3] 千葉科学大学大学 生化学／応用遺伝子学

P63-356　心筋梗塞モデルへの骨髄単核球細胞移植とイコサペンタエン酸併用投与による血管新生効果

小口　渉 (Koguchi, Wataru)[1]、小林　直彦[1]、福嶋　博道[1]、武島　宏[1]、間々田　恭子[1]、平田　久人[2]、町田　賀章[2]、鈴木　典子[3]、横塚　富美江[3]、田部井　恭子[3]、松岡　博昭[1]、石光　俊彦[1]

[1] 獨協医科大学 循環器内科、[2] 獨協医科大学 実験動物センター、[3] 獨協医科大学 医学総合研究所

一般ポスター 64（臨床）P64：薬物療法　ARB・利尿薬併用　3　13:00-13:30

座長：野出　孝一　佐賀大学 循環器・腎臓内科学

P64-357　ARB・利尿剤合剤を用いた降圧療法の多施設前向き臨床研究（第1報）

目野　宏 (Meno, Hiroshi)[1]、田中　道子[2]、稲生　哲治[1]、河野　博之[1]、福泉　寛[1]、村山　栄一[3]、山崎　節[3]、小林　研二[3]、寺沢　正壽[3]、久原　伊知郎[3]、高田　和幸[3]、嶋田　一郎[3]

[1] 福岡赤十字病院 循環器科、[2] 福岡赤十字病院 健康管理疾病予防センター、[3] 福岡市南区医師会サザンハートカンファレンス

P64-358　24h/7日間ABPM測定法を用いた持続性ARB/利尿薬合剤の時間療法

渡邊　尚彦 (Watanabe, Yoshihiko)、西村　英樹、大塚　邦明

東京女子医大 東医療センター 内科

P64-359　ARBで降圧コントロール不十分な高血圧患者におけるロサルタン／少量利尿薬合剤による降圧効果と安全性に関する研究（COMBO-Study）

武　俊介 (Take, Shunsuke)[1]、瀬尾　俊彦[2]、高岡　秀幸[3]、衣川　徹[4]、磯貝　興久[5]

[1] 大阪府済生会野江病院 循環器科、[2] 大阪府済生会中津病院 循環器内科、[3] 高槻病院 循環器内科、[4] きぬがわ内科循環器科、[5] 磯貝内科

P64-360　RA系阻害薬投与中高血圧患者の血漿アルドステロン濃度の変化-ARB増量と少量利尿剤併用の差-

岡本　紳也 (Okamoto, Shinya)[1]、市川　和秀[1]、中村　真潮[2]、伊藤　正明[2]

[1] 岩崎病院 内科・循環器科、[2] 三重大学 循環器内科

P64-361　ARBと少量利尿薬の併用効果の検討

菅原　明 (Sugawara, Akira)[1]、伊藤　貞嘉[2]

[1] 東北大学 大学院医学系研究科 先端再生生命科学、[2] 東北大学 大学院医学系研究科 腎・高血圧・内分泌学

P64-362　著明な食塩感受性を示した1症例

菅原　明 (Sugawara, Akira)[1]、伊藤　貞嘉[2]

[1] 東北大学 大学院医学系研究科 先端再生生命科学、[2] 東北大学 大学院医学系研究科 腎・高血圧・内分泌学

一般ポスター 65（臨床）P65：薬物療法　ARB・利尿薬併用　4　13:30-13:55

座長：森本　聡　関西医科大学 枚方病院 第二内科

P65-363　糖尿病合併高血圧患者におけるロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤の安全性と有用性

木内　謙一郎 (Kinouchi, Kenichiro)[1]、市原　淳弘[2]、迫田　万里代[1]、三戸　麻子[1]、成田　達哉[1]、木田　可奈子[1]、伊藤　裕[1]

[1] 慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科、[2] 慶應義塾大学医学部抗加齢内分泌学講座

P65-364　ロサルタン/低用量利尿薬合剤の早朝血圧に及ぼす効果と安全性に関する北摂地区多施設共同研究（SPEC study）

林　哲也 (Hayashi, Tetsuya)[1,2]、花田　尚志[3]、島津　保生[4]、津久田　康成[5]、北浦　泰[2]

[1] 大阪医科大学附属病院 臨床治験センター、[2] 大阪医科大学 内科学 III、[3] 花田内科、[4] 宮田診療所、[5] 津久田医院

P65-365　アンジオテンシンII受容体拮抗薬/少量利尿薬の併用療法からロサルタン/ヒドロクロロチアジド配合剤へ切り替えたときの血圧および血清尿酸値の推移

大城　克彦 (Ohshiro, Katsuhiko)[1]、崎間　敦[1,2]、仲田　清剛[3]、古波蔵　健太郎[1]、田名　毅[4]、仲本　みのり[1]、新里　朋子[1]、山里　正演[1]、石田　明夫[1]、大屋　祐輔[1]

[1] 琉球大学医学部循環系総合内科学分野、[2] 琉球大学保健管理センター、[3] 敬愛会ちばなクリニック、[4] 麻の会首里城下町クリニック第一

P65-366　アンジオテンシンII受容体拮抗薬とカルシウム拮抗薬の併用およびアンジオテンシンII受容体拮抗薬とサイアザイド系利尿薬の併用による降圧効果の比較

中村　哲也 (Nakamura, Tetsuya)[1]、藤井　茂樹[3]、星野　仁[3]、有坂　拓[3]、岩崎　勉[3]、長沼　文雄[3]、水野　春芳[3]、大山　良雄[3]、一倉　誠子[1]、斎藤　勇一郎[2]、倉林　正彦[2]

[1] 群馬大学医学部附属病院臨床試験部、[2] 群馬大学医学部附属病院循環器内科、[3]ACCEPT Study Group

P65-367　アンジオテンシンII受容体拮抗薬/少量利尿薬併用療法からロサルタン/ヒドロクロロチアジド配合剤へ切り替えたときの服薬アドヒアランス、満足度および降圧効果に関する検討

崎間　敦 (Sakima, Atsushi)[1,2]、大城　克彦[1]、仲田　清剛[3]、古波蔵　健太郎[1]、田名　毅[4]、仲本　みのり[1]、新里　朋子[1]、山里　正演[1]、石田　明夫[1]、大屋　祐輔[1]

[1] 琉球大学医学部循環系総合内科学分野、[2] 琉球大学保健管理センター、[3] 敬愛会ちばなクリニック、[4] 麻の会首里城下町クリニック第一

一般ポスター 66（臨床）P66：薬物療法　CCB　1　13:00-13:30

座長：堀尾　武史　国立循環器病センター 内科高血圧腎臓部門

P66-368　Ca拮抗薬とARB併用降圧療法

久保田　和充 (Kubota, Kazumitsu)、松本　研三、丸山　誠代、古山　正大、福田　佑介、安藤　智恵、東條　秀明、三好　恵、角　俊一郎、山之内　良雄、浦田　秀則

福岡大学筑紫病院

P66-369　Ca拮抗薬とARBによる降圧治療時の血管系への影響：12カ月間治療の成績

武田　和夫 (Takeda, Kazuo)、大島　瑞代、松本　早苗、八木　孝和、森口　次郎、高梨　芳彰

財団法人 京都工場保健会診療所

P66-370　後期高齢者におけるアゼルニジピンの有効性

駒井　則夫 (Komai, Norio)、冨田　奈留也、桑原　篤憲、藤本　壮八、佐々木　環、柏原　直樹

川崎医科大学 内科学（腎）

P66-371　長時間作用方ニフェジピン分割投与による血圧日内変動への影響に関する検討

新里　朋子 (Shinzato, Tomoko)[1]、崎間　敦[2]、古波蔵　健太郎[1]、大城　克彦[1]、仲本　みのり[1]、山里　正演[1]、石田　明夫[1]、大屋　祐輔[1]

[1] 琉球大学 医学部 循環系総合内科学、[2] 琉球大学保健管理センター

P66-372　高血圧患者の求心性心肥大の改善―ARBとCa拮抗剤との比較研究

高見　武志 (Takami, Takeshi)[1,2]、斉藤　能彦[2]

[1] クリニック神宮前 内科、[2] 奈良県立医科大学第1内科

P66-373　アムロジピン5 mgで効果不十分の本態性高血圧症患者を対象としたアムロジピン10 mg長期投与試験

藤原　忠美 (Fujiwara, Tadami)[1]、村上　真美[1]、土橋　卓也[2]、猿田　享男[3]

[1] ファイザー株式会社, クリニカル・リサーチ統括部、[2] 国立病院機構 九州医療センター 高血圧内科、[3] 慶應大学 医学部 内科

一般ポスター 67（臨床）P67：薬物療法　CCB　2　13:30-14:00

座長：松村　潔　九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学

P67-374　早朝・就寝時の家庭血圧の差を増強する因子の同定とそれに及ぼすアゼルニジピンの影響の検討（At-HOME study）

苅尾　七臣 (Kario, Kazuomi)[1]、平松　且稔[2]、塩境　一仁[2]、島田　和幸[1]

[1] 自治医科大学 医学部 循環器内科、[2] 第一三共株式会社

P67-375　頭側延髄腹外側野への動脈による接触を認める本態性高血圧患者におけるL・N型カルシウム拮抗薬の有用性に関する検討

青田　泰子 (Aota, Yasuko)[1]、森本　聡[1]、佐久間　孝雄[1]、城　聡一[2]、前原　稔[2]、池田　耕士[2]、澤田　敏[2]、岩坂　壽二[1]

[1] 関西医科大学附属枚方病院 第二内科、[2] 同放射線科

P67-376　早朝高血圧に対するCCBの就寝前療法はα遮断薬の降圧効果を凌駕出来るか？（TIMING Study III）

宮川　政昭 (Miyakawa, Masaaki)

宮川内科小児科医院

P67-377　ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤ベニジピンは本態性高血圧患者において血漿アルドステロン濃度を低下させ酸化ストレス減少作用、高分子型アディポネクティン上昇作用を有する

佐藤　文俊 (Satoh, Fumitoshi)、森本　玲、工藤　正孝、松田　謙、岩倉　芳倫、村上　治、伊藤　貞嘉

東北大学病院 腎高血圧内分泌科

P67-378　本態性高血圧患者におけるシルニジピンの血中アディポネクチン上昇作用の検討

杉原　充 (Sugihara, Makoto)、上原　吉就、藤見　幹太、八尋　英二、出石　宗仁、三浦　伸一郎、朔　啓二郎

福岡大学 医学部 心臓・血管内科学

P67-379　合併症のない高血圧におけるテルミサルタン、ニフェジピンのPPARγ活性化作用

山崎　文靖 (Yamasaki, Fumiyasu)[1]、宮野　伊知郎[2]、小澤　利男[2]、西永　正典[2]、土居　義典[2]

[1] 高知大学 医学部 検査部、[2] 高知大学 医学部 老年病科・循環器科

一般ポスター 68（臨床）P68：薬物療法　その他　3　13:00-13:25

座長：羽根田　俊　北海道社会事業協会 富良野病院内科

P68-380　高血圧外来患者におけるコントロール不良および治療抵抗性高血圧の実態と特徴

土橋　卓也 (Tsuchihashi, Takuya)、大田　祐子、宮田　恵里、尾中　宇蘭

国立病院機構 九州医療センター 高血圧内科

P68-381　利尿薬投与中の患者における血圧の特性 ―各種測定法による検討―

叶澤　孝一 (Kanozawa, Koichi)、清水　泰輔、岩下　山連、三谷　知之、本島　みずき、中島　徳志、朝倉　受康、長谷川　元、御手洗　哲也

埼玉医科大学総合医療センター 腎高血圧内科

P68-382　高血圧外来患者における上腹部症状の現状

鬼木　秀幸 (Oniki, Hideyuki)[1]、松村　潔[1]、大坪　俊夫[1]、後藤　健一[1]、福原　正代[1]、三輪　宜一[2]、上園　慶子[3]、飯田　三雄[1]

[1] 九州大学大学院 病態機能内科学、[2] 九州大学大学院臨床薬理、[3] 九州大学健康科学センター

P68-383　Stroop color-word testによるメンタルストレス時の血圧変動に及ぼす降圧薬の影響

羽野　卓三 (Hano, Takuzo)、川邊　哲也

和歌山県立医科大学 医学教育・集団医療学

P68-384　高血圧患者に対する漢方薬の降圧効果を検討した症例集積研究

小田口　浩 (Odaguchi, Hiroshi)

北里大学 東洋医学総合研究所

一般ポスター 69（臨床）P69：薬物療法　CKD　13:30-13:45

座長：上原　譽志夫　東京大学保健管理センター

P69-385　超高齢者降圧療法の実態：CKD stageとの関連

小嶋　俊一 (Kojima, Shunichi)、谷上　芙久子、芹澤　敬子、志田　幹雄

国立病院機構 静岡医療センター

P69-386　慢性腎臓病(CKD)患者診療における家庭血圧測定に関する実態調査

菅野　直希 (Sugano, Naoki)[1]、栗山　哲[1,2]、大塚　泰史[1,2]、原　洋一郎[1]、遠藤　聡[1]、吉澤　威勇[1]、末次　靖子[1]、高根　紘希[1]、高橋　康人[1]、近藤　誠[1]、林　文宏[1]、石川　匡洋[1]、徳留　悟朗[1]、細谷　龍男[1]

[1] 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科、[2] 東京都済生会中央病院

P69-387　Cilnidipineの降圧及び長期腎機能保護効果についての検討

大澤　豊 (Osawa, Yutaka)[1]、成田　一衛[2]

[1] 新潟臨港病院 内科、[2] 新潟大学医歯学総合研究科腎膠原病内科